

会 議 録

平成 30 年 12 月 6 日作成

審議会等名	平成 30 年度 第 2 回 三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 30 年 11 月 29 日 (木) 午後 7 時から 9 時まで		
開催場所	三条市中央公民館 音楽視聴覚室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (11 人)	小林 斉子委員 (議長) 志賀 徹也委員 倉品 章 委員 坂井 涼子委員	丸山 正夫委員 (副議長) 三原 康二委員 鈴木千佳子委員 木村富美夫委員 村田 洋子委員 土屋 文舟委員 三枝 進委員
	職員 (6 人)	恋塚生涯学習課長兼中央公民館長兼栄公民館長兼下田公民館長 二宮井栗公民館長 田中大島公民館長 山田大崎公民館長 阿部生涯学習推進係長 比嘉一般任用主事	
議 題	(1)平成 30 年度上半期生涯学習事業等の実施状況について		
	(2)100 人インタビューに基づく、今後の生涯学習事業等の方向性について		
	(3) その他		
会議内容	別紙のとおり		

小林議長	<p>これより平成 30 年度第 2 回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催いたします。</p> <p>まず始めに恋塚生涯学習課長さんから挨拶をお願いします。</p>
恋塚課長	<p><挨拶></p>
小林議長	<p>議題に沿って進行します。</p> <p>先ずは、事務局から資料の確認をお願いします。</p>
阿部係長	<p><配布資料の確認></p> <p>①資料No.1 平成 30 年度上半期生涯学習事業等の実施状況について</p> <p>②資料No.2 100 人インタビューに基づく、今後の生涯学習事業等の方向性について</p> <p>③新潟県公民館だより</p> <p>④井栗公民館 伊久礼 (冊子)</p> <p>⑤委員名簿</p> <p>⑥座席表</p>
小林議長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題(1)平成 30 年度半期生涯学習事業等の実施状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><平成 30 年度上半期生涯学習事業等の実施状況について説明></p>
小林議長	<p>事務局から平成 30 年度の上半期生涯学習事業等の実施状況として、きっかけの 1 歩事業の取組状況を説明いただきました。裾野づくりであるきっかけの 1 歩事業の取組成果について、委員の皆様から御意見を頂きたいと思えます。</p>
土屋委員	<p>講座の参加者は、どこから情報を得て参加されるのか、また参加する方が誘って人が増えていることがあるか、アンケート等で把握されていますか。</p>
阿部係長	<p>アンケート調査を行っており、別の機会にお示しさせていただく予定ですが、推察するところによれば、参加された方がお声掛けをして、友人等を誘ってくださることも多いです。今年度は、多くの皆様の目に触れるように、きっかけの 1 歩のパフレットを市内 270 ヶ所にお配りし、病院等の待合室などに置いていただいたり、各公民館の市有車に、きっかけの 1 歩のマグネットシートを付けて、</p>

坂井委員	<p>参加者の募集をPRする取組を行いました。そうした積み重ねが参加者の増加に繋がっているものと考えます。</p> <p>私も栄公民館のきっかけの1歩事業に参加した際、友人に声掛けをして参加したところ、また参加したいと言っていました。声掛けが効果的だと思います。</p>
村田委員	<p>初めて講座に参加した方はどのくらいですか。数値化されていますか。</p> <p>また今回の資料を見ていると、参加されている方々の様子がとても楽しそうです。このような楽しい講座風景を見たら、参加してみたいと思うのではないのでしょうか。例えばですが、このような講座の様子を冊子にして各公民館に置くなど、市民に向かって披露する機会を検討されてはいかがでしょうか。</p>
阿部係長	<p>常連者か、初めてかの統計は常に取っています。公民館を利用したことがない、或いはほとんど利用したことがない方が、おおむね45%という結果が出ています。先ほども御説明したとおり、男性の参加率が3割、公民館の常連以外が4割以上という結果もあります。</p> <p>また、今回の資料を活用しての市民向けのPRについては、参考に検討したいと思います。なお、セカンドライフ応援ステーションでは、各公民館等のロビーを利用してボランティア活動風景を掲示しています。</p>
小林議長	<p>きっかけの1歩事業を通じて、セカンドライフ応援ステーションに登録された方が197人であり、登録者全体の23パーセントを占めているというデータを受けて、今後どうしていったら良いか、皆様から御意見を頂きたいと思います。</p>
倉品委員	<p>第3ステージから第4ステージに上がるには、当初この事業を検討した委員の皆様からもハードルが高いのではという意見もあっただけに、14人もいられることはある意味評価してよい数字ではないかと思います。一方、第3ステージに195人がいて、今後この方々を第4ステージに上げる策として、第2と第3ステージの間に当初なかった2.5ステージが追加されたように、3.5ステージを追加するお考えはありますか。</p>
阿部係長	<p>2.5ステージは、取組を進める中で、公民館職員から声掛けをしていくことで登録に結びつくことが分かったことから設定したス</p>

	<p>テージです。第3ステージは「支える人」であるため、いわゆる「従」の意識が強いので、そこから「主」として活動する第4ステージへとなると、一歩引いてしまわれる方が多いのでなかなか容易ではありません。来年度の取組として、第3ステージにまで来ている方々とのお茶会・交流会を計画し、その中で特技や趣味を聞き出しながら、第4ステージに引き上げるとともに私どもと一緒に事業の運営を行っていただきたいと考えております。</p>
小林議長	<p>セカステの登録者が197人とのことですが、この方々は生涯学習関連のボランティアということでしょうか。</p>
阿部係長	<p>この197人は、我々がこの3年間、きっかけの1歩事業の参加者にお声掛けをして、セカステに登録していただいた人数だと御理解いただきたいと思います。</p>
三枝委員	<p>私は、色々な機会に声掛けをしてきっかけの1歩事業を紹介しています。また、私自身も各公民館のきっかけの1歩事業に参加しています。その中で気付くことは、新規の講座だと初対面なので1回だけでは親睦が図れないことがあります。複数回行うことによって、顔見知りになり、交流が来ていきます。また、男性は女性と違って話し下手なところもあって、一人で会話もなく作業をしているところを結構見掛けます。そういう男性の性格が、参加率30パーセントに少なからず関係しているのではとあって、そこをどう工夫し、男性が興味を持って参加しやすいようにしていくかを考える必要があると思います。</p>
小林議長	<p>この資料を見てもやはり、女性向けの事業が多く、男性が入っていきそうな事業が少ないように見受けられます。</p>
木村委員	<p>男性は、自身が高齢者だと思いたくないという傾向が強いと思います。</p>
三枝委員	<p>男性限定にすると、集まりやすいと思います。三条東公民館での健康体操講座のときは、20人近く集まりました。男性限定と銘打った講座を増やしていくと興味を示し、参加に繋がるのではないかと思います。</p>
小林議長	<p>男性の社会参画は今後も重要ですし、生涯学習の面からも男性の参加率を増やしていく努力は今後も必要だと考えますので、次年度に向けた講座でも御一考ください。</p>

	<p>本日は、きっかけの1歩事業について、皆様から御検討いただいた訳でございます。第4ステージに14人が進みましたが、更に裾野づくりの完結に向けて取り組んでいただきたいと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>次に議題「(2)100人インタビューに基づく、今後の生涯学習事業等の方向性について」事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><「(2)100人インタビューに基づく、今後の生涯学習事業等の方向性について」説明></p>
小林議長	<p>この100人インタビューは、三条市総合計画の高齢者の外出機会の創出に係る生涯学習課・高齢介護課・地域経営課が、60歳以上の方々から生の御意見を一早くキャッチし、それぞれの事業へ反映させて次のステップに繋げることを目的に実施したものであります。このインタビューの結果を基に、生涯学習課としてどのように事業に落とし込んでいくかを御説明いただいたわけですが、これについて委員の皆様から御意見を伺いたいと思います。</p> <p>これはきっかけの1歩事業に特化するわけではなくて、公民館事業全てに反映するという理解でいいですね。</p>
阿部係長	<p>はい。そのとおりです。</p> <p>一人で楽しむコレクション講座としては、カメラ、骨董品、盆栽などを使った事業が実現できないかと考えております。</p>
土屋委員	<p>このインタビューの結果及び分析は、男性の参加率を高める上で非常に有効だと思います。マニア向け講座は、コレクションを自慢したいという心をくすぐっていると思いますし、複数回の開催により交流が深まると思うのでよいアイデアだと思います。</p>
村田委員	<p>入口としては良いと思いますが、それだけでは生涯学習とはならないのではないかと懸念します。</p>
鈴木委員	<p>それだけしかやらない講座だと課題が残りますが、講座を通じて交流を深め、技術を深めて例えば講師として活躍する等、発展した方向性を見出していければ、それはそれで1つの成果になると思います。内容だけを強調せず、この講座をきっかけにして他の事業に興味を持つ広がりを見せることも考えられるし、公民館に足を運んでもらう確率は増えるのではないかと思います。</p>
小林議長	<p>講座の内容については、生涯学習として行っていく上で、検討が</p>

	<p>必要だと思います。今回は、100人インタビューでの結果を受けての今後のきっかけの1歩事業のイメージと捉えていただきたいと思います。</p>
土屋委員	<p>裾野を広げる意味で、これまで行った講座も、初めての方向けに行ってほしいと思います。初めてみたい人が行ったときに、周りがみんな上手い人で入りにくいという集まりにならないよう工夫が必要だと思います。</p>
小林議長	<p>その他、事務局から何かありましたらお願いします。</p>
阿部係長	<p><委員の任期について説明></p>
小林議長	<p>先回の委員会で村田委員から、公民館の耐震性が「不明」というのは問題ではないか、という御指摘がありました。その後、別の委員会（地域審議会）で質問しまして、「施設の耐震診断及び耐震工事を行う考えはない」という答えが返ってまいりました。「今後、適宜、適切にメンテナンスを行い、利用者への不安解消に努めていく」とのことでしたので御報告させていただきます。</p> <p>この委員会の議長として、まちなか円卓会議のメンバーに選出されました。先日2回目が終わり、旧三条小学校跡地に建設予定の図書館、理科教育センター、鍛冶ミュージアムのコンセプトについて説明がありました。</p> <p>また、体育文化センター跡地に建設予定の施設の名称が、「三条市体育文化会館」になると先回の議会で正式に発表がありました。</p>
三原委員	<p>この委員会で初めて、きっかけの1歩事業のような30代・40代でも楽しめるような講座をやっていることを知ることが出来ました。公民館の案内は、回覧板や学校からのお知らせで目にするものもあるのですが、日中は仕事もあるのでなかなか参加出来ないでいます。PR方法を工夫すれば、30代、40代や親子の参加者が増えるのではないかと感じました。</p>
志賀委員	<p>個人的な意見を申しますと、これから退職を迎える現役世代にとって、やりたいなと思う講座がたくさん用意されていて、選べるというような体制があると有り難いかなと思いました。</p>
倉品委員	<p>要望ですが、子どもたちと高齢者の交流という観点で講座を考えていただきたいと思います。出来れば会場は、“学校”といった工夫があると良いなと思います。</p>

志賀委員	<p>嵐南小学校だけの話を申しますと、地域交流センターが学校にあります。そこでは地域の方々が中心となって子どもたちとの交流を進めております。公民館講座として開催したいということであれば御相談いただければと思います。</p>
小林議長	<p>本日、用意されました議題につきまして無事終了することができました。</p> <p>以上で本日の会議を終了いたします。</p>